



緑ECO通信 増刊号

第144号 令和元年

回覧

編集・発行 資源循環局緑事務所

TEL (045) 983-7611 FAX (045) 982-7973

7月



フードバンク・フードドライブ活動の推進

食べ物の「もったいない」を「ありがとう」へ

もったいない!

まだ食べられるのに廃棄される食品ロスの現状



日本では…

「食品ロス」は、

年間**643万トン**

廃棄される食品のうち可食部分と考えられる量



事業系

352万トン



家庭系

291万トン

※平成28年度農林水産省推計

食品ロスとは、本来食べられるのにも関わらず廃棄されている食べ物のことです。



2017年の国連世界食糧計画 (WFP)による食糧支援量は

約**380万トン**



国民一人当たり
食品ロス量

約**140g**

茶碗約1杯分のご飯の量に相当



毎日おにぎりを
1~2個捨てて
ことになるんだ…



横浜市では、食品ロス削減の取組として、フードバンク団体等と連携イベント等でのフードドライブの実施や、小売店舗など身近な場所で食品を寄附できる環境づくりを進めています。

この取組を通じて、各ご家庭で購入した食品やお中元・お歳暮等でいただいたものなど、常温で保存している食品の在庫と期限の確認の習慣づけを促し、自分で食べきれない食品は早めにフードドライブに提供することで、食品ロスの削減を目指しています。



フードバンクとは?

フードバンクとは、各家庭や食品を取り扱う企業から、まだ安全に食べられるのに廃棄されてしまう食品を引き取り、福祉施設等へ無償で提供する団体・活動を言います。



フードドライブとは?

フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動を言います。

なお、横浜市ではフードバンク団体及び社会福祉協議会を通じて、地域の福祉施設や食を必要としている方に寄贈しています。



フードドライブご協力をお願い!!

日時: 令和元年10月20日(日) 10:00~15:00 県立四季の森公園 北口広場付近

※ここで挙げた食品は一例となります。詳細は実施団体に確認してください。

受付できる食品

- ◆お米(白米・玄米・アルファ米)
- ◆パスタ、素麺などの乾麺
- ◆缶詰・レトルト・インスタント食品
- ◆海苔・お茶漬け・ふりかけ
- ◆粉ミルク・離乳食・お菓子
- ◆調味料(醤油、食用油など) など

2か月以上賞味期限が残っている
常温保存可能なもの



受付できない食品

- ◆賞味期限が2か月を切っているもの
- ◆開封されているもの
- ◆生鮮食品(生肉・魚介類・生野菜)
- ◆アルコール(みりん、料理酒除く)

ごめんなさい…

左記食品は、お持ちいただいても受け取りできません。ご理解・ご協力をお願いいたします。



プラスチックごみによる環境汚染が拡大しています

プラスチックの こと考えて みませんか?



プラスチック問題の現状

■プラスチックごみが魚の重量を上回る?!

世界全体で年間数百万トンものプラスチックが陸上から海洋へ流出しています。このままでは2050年までに魚の重量を上回る量のプラスチックごみが海洋を占めると予測されます。



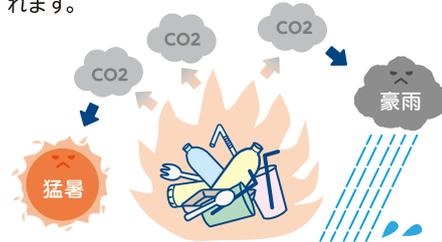
プラスチックごみによる環境汚染



河口付近には流域から流れてきたプラごみが多数漂着しています

■地球温暖化を引き起こす

プラスチックを燃やすと地球温暖化の原因となる温室効果ガス(CO2)が多く発生します。温暖化は、地球規模の気候変動を引き起こすとされており、災害級の猛暑や記録的豪雨との関連も考えられます。



「プラスチックごみ」による環境汚染が、 地球規模で拡大しています!

海洋へ流出した膨大な量のプラスチックは、紫外線や波の力で微細化し5mm以下のマイクロプラスチックになり、くじらや海鳥などの海洋生物が摂取するため、生態系への影響が懸念されています。

世界、そして日本でもプラスチック問題の解決に向けた動きが広がる中で、横浜市でも「よこはまプラスチック資源循環アクションプログラム」の9月策定に向けて、急ピッチで準備を進めています。



くじらの赤ちゃんの胃の中からプラスチックごみが発見されました

今から 始めよう!

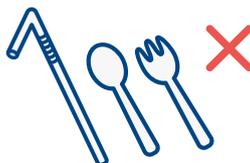
✓ マイバッグの使用

マイバッグを持ち
レジ袋をもらわない



✓ 使い捨て食器はNO!

プラスチック製ストロー、
スプーンやフォークなど使い捨て
の食器をもらわない



✓ マイボトルの使用

マイボトルを持ち
ペットボトルの使用を減らす



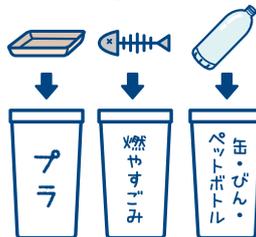
✓ ポイ捨てしない

きれいな心できれいな街に



✓ 分別の徹底

きちんと分けてごみ箱へ



✓ 清掃活動等の推進

街の美化、環境保全に向けて
積極的に参加しよう



環境事業推進委員

地域でのごみの減量による脱温暖化に向けた3R活動と、地域の美化や清潔の保持などを推進するため、自治会等から推薦をいただき市長が委嘱しています。

緑区内では、約200名の環境事業推進委員の皆様が活躍しており、ごみ集積場所における分別排出の普及啓発や、地域清掃活動の推進の活動などを行っています。



地区会長の皆様